



サーバス九州

日本サーバス九州支部会報 No.171

2016年2月6日発行

久しぶりに大雪に見舞われ、寒冷地対応になっていない我が家は冬ごもりならぬ「雪ごもり」。雪を溶かして生活用水を確保し、三日間をしのぎましたが、いろいろ生活に不自由をきたしました。電気、灯油がありましたので、「雪ごもり」なんてのんきなことを言って過ごせましたが、それらもなかった震災地の方々のご苦労はいかばかりだったでしょうか。今更ながら被災地の方々のご苦労に思いを寄せています。

大分地方ではほとんど降雪はなかったとお聞きしますが、その他の地区にお住まいのみなさま方はいかがだったでしょうか。

立春も過ぎ、春はすぐ近くまでやってきていますが、やっぱり暖かい春の訪れが待たれますね。

会報 2016年2月号(171号)をお届けします。

受信されましたらご一報いただくと安心します。どうぞよろしく願いいたします。

掲載している内容は以下の通りです。

- 1 サーバス九州「春の集い」のごあんない
- 2 シリーズ世界一周の旅—その11— エジプト編後半
- 3 トラベリング報告 —台湾旅行—
- 4 お知らせとお願い<サーバス九州関係>
- 5 サーバス九州現況 (2016年2月5日現在)
- 6 サーバス九州連絡先等 (常掲) HPでは省略

1. サーバス九州「春の集い」のごあんない!

恒例の「春の集い」を以下の要領で開催します。

できるだけたくさんの方にご参集いただき、会員間の情報交換を活発にし、親睦が深められたらいいなと思います。

今年の春の集いの目玉は仏領レユニオンから日本を訪問されるサーバストラベラー M. M(元英語教師)にレユニオンの話をしていただきます。通訳付きです。レユニオンってどこにあるかご存じでした?

お話しの後には九州支部会議です。

1年間を振り返り、みんなで今年の計画を立てましょう。新しい役員も選出します。そして、親睦会です。トラベラーも参加します。

期日：2016年4月9日(土)13:00~17:00

場所：福岡市健康づくりセンター あいれふ 9F 研修室

住所：〒810-0073 福岡市中央区舞鶴2-5-1 Tel 092-751-2827

行き方：地下鉄で天神の次の赤坂下車。(博多からだと)博多一祇園一中洲川端
一天神一赤坂

親睦会：別会場に移動します。

時間：17:30~19:30

場所：グレート ファン ウェディング ノース天神 8F (みんなでいきます!)

「あいれふ」から歩いて7~8分

住所：〒810-0001 福岡市中央区天神4-3-20 Tel 0120-888-561

費用：飲み放題付き一人4,000円

出欠の知らせ：

最終締め切り：3月31日 支部長宛 メール、電話、Fax いずれでもご都合の
良い方法で。(このメールの最後の常掲欄をごらんください)

直前以外は取り消し可能ですので、ご都合のいいときにお知らせください。
(親睦会の食事、資料の準備等、早めに分かっていた方がとりくみやすいので、
なるべく早めにお知らせいただくと助かります。)

尚、あいれふに駐車場はありません。近くの有料駐車場になります。すみません。

2. シリーズ世界一周の旅 -その11-

熊本 T会員

エジプト 2

ルクソールに泊ったあと、次の旅先のアスワンまで列車に乗って移動した。アスワンまでは列車で4時間くらい。今回泊まるホテルは駅から徒歩5分だったのでタクシー運転手たちとの交渉に煩わされることなくよかった。フロントで明日のアブシンベルへ行くツアーを申し込む。本当はアブシンベルで一泊して夜のショーを見たかったが空きがないとのこと。仕方なく日帰りのツアーを頼んだ。その日は特にすることもなかったなので、近くのマーケットを散策したが暑くて早めにホテルに戻って仮眠をとる。夕方に起きて再活動。ナイル川沿いを歩いたりして過ごした。

夜中の2時に起床。アスワンの滞在は一泊のみなので荷物をまとめ、一度ロビーに預けてツアーのバスを待つ。3時半にバスに乗ってバスで移動。広場に着くと沢山の他のツアーバスでいっぱいだった。アブシンベルへの移動は、スーダンの国境近くまで行くため、軍の車と一緒に移動するそうだ。広場に一度バスを集め、その前後を軍の車に守られた状態で一斉に移動するそうだ。

車が走り始めて約4時間たってアブシンベルに到着。到着したのは8時ごろだったがもう日が登り明るく暑いくらいだった。アブシンベルには2つの神殿があった。一つはラムセス2世のもので、もう一つはラムセスの奥さんの神殿だった。ダムが建設されたときに60m下から今のこの場所に移動したそうで、よく見ると象に切れ目が入っていたりした。神殿の中は、綺麗にペイントされた絵が壁や天井にもあり、とてもきれいだった。エジプトの神様や王様、奴隷のことが描かれていた。青空と明るい土色の神殿のコントラストがとても綺麗だった。

ここで2時間くらい過ごしたあと、またマイクロバスに乗り込んで移動。2時間半くらいして、イシス神殿に到着。チケットを買って中に入ると神殿まで船での移動が必要だとのこと。しかし、船代はチケットに含まれておらず……。ここでは、旅行慣れしている一人旅の日本の女の子が「私に任せて」と交渉を開始。言い値よりも安く一人10£Eで7人で乗ることになった。この女性は仕事を辞め夫を日本において一人旅をして居るようで、しっかりとした値段交渉が出来ていて関心した。

16時過ぎくらいにホテルに到着。カイロ行きの列車が発車する19時前までホテルで過ごした。帰りの列車も行きと同じ2人用の二段ベッドの個室。食事付だが、私達の口には合わず。朝ごはんは、前回とまったく同じでパンが3種類のみだった。

早朝にカイロに到着。アレクサンドラ行きチケットを購入し列車を待っていると、列車の横に大きな絨毯が敷かれ、人々がそこに膝まつきお祈りを始める場面に遭遇した。毎日5回のお祈りを欠かさないイスラム教徒の人々。こんな場所でもお祈りするののか！？と関心してしまった。

約3時間後、アレクサンドラ駅に到着。外に出るとまたタクシーの勧誘が始まったので、もう一度ホームに戻り、観光案内所でホテルの場所を確認。タクシーで行くというのですぐ側にいたおじさんを紹介され、片道15£Eと言われた。距離も分からないのでその値段で交渉し、おじさんに荷物を持ってもらいながら外に出ると、今度はそのおじさんと正規のタクシーのおじさんで荷物の取り合いが始まりちょっとした騒動になった。どうも案内所で紹介された人は白タクだったようで、乗った車は自家用車だった。そして、運賃も正規の値段より高かったことを後で知った……。

ホテルへは5分くらいで到着。古いヨーロッパ調のお洒落な建物の5階だった。通された部屋は日光が良く入る明るい部屋。今までのホテルの中ではいいほうだった。ホテルの方によると100年以上経つ建物らしかった。アレクサンドラは海が近いせいかカイロに比べると涼しくて過ごしやすかった。またカイロよりも洗練されているイメージだった。

トルコ行きの航空券を買うためのオフィスまで歩いて移動したが、あれこれ声を掛けてくる人がいなくてのんびり町を見ることが出来た。オフィスに着いて相談するとココでは往復しか買えないという。片道だったら旅行会社の方が対応できると親切に教えてくれた。いままで自分たちの利益しか考えない人たちがばかり見ていたので、なんだかこんな普通の対応に感動してしまった。すぐ隣の旅行会社に行くとうすぐに対応してくれて、片道のチケットの2種類の中から安いのを探してくれた。エジプトのみんながこんな風に働いてくれると、きっとリピーターも増えるのではないかと思った(笑)。

アレクサンドリアでは、エジプト旅行の中では割りとのんびり過ごした。今までの結構早足でまわって移動、移動の毎日だったので私たちも疲れていたのかもしれない。ほとんどホテルから徒歩かバスで15分くらいの場所くらいしか回らず、時には海沿いのカフェで水タバコを楽しんだり、夕日を眺めて過ごした。この後は、カイロから飛行機でトルコのイスタンブールへ移動。最後のエジプトの数日はのんびりした日々だった。

(記：T会員にお願いして旅行記を書いています。どうぞ、感想をお寄せください。ライターも「こんなのでいいのですかね」と心配されていますので、みなさんの率直な感想をお寄せいただければと思います。また、会報への寄稿のお気持ちがあらわれる方はどうぞ記事をお寄せください。人を非難・中傷するものでなければ可能な限り会報にアップさせていただきます。サーバス旅行に限定しなくて結構です。)

3. トラベリング報告

台湾旅行記

佐賀 N 会員

昨年の暮れ、妻と台湾中部の鹿港という古い街を訪ねました。旅程についてはサーバスの S さんと相談をして決めました。

12月25日(金)朝の10時過ぎに福岡空港を立ち、現地時間で午後1時頃、桃園国際空港に到着しましたが、入境検査のために並ぶ旅行者の列が延々と続き、手続きを終えるのに30分以上も掛りました。それから荷物受け取りの回転台に行ってみると、今度は私たちのスーツケースがなかなか出てきません！あまりにも遅いのでカウンターに行ってみると「場所は間違っています。」という答え。遂に別便の荷物が流れてきました！これは大変、ぐるりと回りを見渡して見ると、誰かが私たちの荷物を勝手に、または親切心から、近くに下ろしてくれていたのです。

それやこれやで漸く外に出ると、そこに S さんが待っていてくれました！それから急いでバスに乗り、高速鉄道桃園駅に到着すると台中までの切符を買いました。S さんの話では65歳以上は半額だということでしたが、窓口では「それは台湾人対象です。」と言われ、がっかりして全額払う羽目になりました。

間もなく午後2時発の高速鉄道が出発するというので S さんに別れを告げ、慌てて乗り込み、空いている席に座ると、隣の親切そうな紳士が私たちの切符をみて「あなた達は8号車ですよ。これは5号車ですから従っていらっしやい。」と言ってわざわざ8号車まで連れて行ってくれました。自分たちの席に座ってからよく見ると、高速鉄道はすべて指定席になっていました！

台中駅に到着したのが2時37分、改札を出ると H さんがにこにこ顔で出迎えてくれました。駅前にはもう一人、T さんも待っていてくれました。H さんは69歳、T さんは59歳、ともに台中支部の役員です。T さんの車に乗り込んで台中市内に入り、Amway 社の喫茶ルームに立ち寄り、有機栽培コーヒーを飲みながらゆっくり時間を過ごしました。

午後5時過ぎに外へ出ると、H さんの案内でアンティークのデンマーク家具を売る店を訪れました。H さんの息子さんの友達が経営する店で、落ち着いた雰囲気、地下にも展示室があり、そこにはなんと草間弥生コーナーまでありました！版画が殆どでしたが、あの毒々しいまでの色使いの巨大作品とは一味違う、なかなか魅力的な作品で、すっかり見直しました。午後6時半、「東山黒白切」というレストランで夕食を取り、美味しいチャーハンを食べました。

その晩は H さんの家でホームステイする予定になっていたのですが、H さんの仕事の都合で R さんご夫妻の家に案内されました。奥さんの R さんがサーバス会員です。ご主人の O さんは御年92歳、足が少し不自由ながら豊饒として頗る元気な方でした。日本語がとても堪能で、太平洋戦争では日本海軍の兵士として南方で戦い、その時に受けた額の疵がまだはっきりと残っている、と言って指で示されました。結局、O さんの家で3泊することになり、すっかりお世話になりました。奥さんの R さんは60歳で、10年ほど前、O さんを紹介され、互いに伴侶をなくした者同士の再婚だったそうです。

2日目午前10時、T さんの自動車に私たちと C さんご夫妻が同乗し、台湾中部で最も有名な観光地である日月潭へ向かって出発しました。11時20分、日月潭の少し手前にある創業100年という老舗「東峰紅茶」に立ち寄り、PR ビデオを観た後、ご自慢の紅茶を頂きました。12時過ぎに日月潭の文武廟に到着し、そこで30分ほど過ごしましたが、次から次に観光バスがやって来ます。聞けば、すべて中国本土からのお客さんでした。日月潭を訪れる観光客は、その殆どが文武廟を見たら帰るのですが、私たちは T さんのお陰で広大な湖を一周することが出

来ました。 海拔760Mの高さにあるこの湖は周囲37km、幾つもの景勝地点があり、私たちはそれぞれの場所で下車し美しい景色を堪能しました。 昼食は「大舌満」という道路沿いの店で取りましたが、味は名前負けしているように感じました！

日月潭を後にして西方に進路を取り午後4時頃、まるで桃源郷のような桃米村という集落に到着し、小鳥の声を聞きながら散策を楽しみました。 それからすぐ近くにある草南湿地にも行きました。 4月から5月にかけてホテルの乱舞する名所だそうです。 Cさんご夫妻が「1999年9月の大地震に見舞われた九份二山が近くにあります。 行ってみませんか。」と言われたので、山深いその村を訪れることにしました。 到着すると、崩壊した山肌の中に一見の傾いた平屋があり、誰でも中に入ることができるというので足を踏み入れた途端、歩きにくいことは勿論ですが何とも言えない悪寒を感じ、気分が悪くなりました。 まるで「呪われた家」あるいは「悪魔の家」という言葉がぴったりくるような場所でした。 聞けばその小さな村で14軒が崩壊し、41名の生命が失われたそうで、東日本大震災で被災した家の中にもこのようなものがあるかも知れない、と思ったことでした。

Cさんはサーバス会員として活動する一方地元の読書会にも入っていて、主として経済や時事問題について月2回勉強しており、読書会の会長であるLさんを紹介してくれました。 LT会長は63歳、なかなか元気の良い方で自動車修理会社を経営しておられ、私たちを夕食に招待して頂きました。 「海陸仔」というレストランで、若いミュージシャンたちが生演奏をしており、私たちが入ると次から次に日本の歌を演奏してくれ、出る時にはチップをはずむ羽目となりました！

3日目は朝9時、Tさん、Hさんの他に、サーバス会員で若い女性のKさん、それにTsさんという年配の方まで見えました！ TsさんはCさんの日本語の先生で84歳、饜鑠として日本語の流暢なこと、正に目を見張るばかり。 そればかりか、日本文化に関する該博な知識を身につけておられ、日本語で和歌まで詠まれる方で、私たちにその幾つかを見せて下さいました。「年長けて又も潜るか杉の戸を若きと学ぶ時ぞ楽しき」

人数が多いので2台の車に分乗して鹿港に向かいました。 10時半頃文武廟に到着しました。 神殿に向かって中央、右、左と3つの入り口があり、私たちが中央の入口から入ろうとすると蔡先生が、「文武廟では右手から入り左側から出るのがしきたりです。 右が龍の口、左が虎の口です。 中央は貴人のための入り口です。」と説明して下さいました。 また、祭壇の前に多くの供物があるのを見ていると、蔡先生が再び次のような面白い話をされました。 道教の神様は私たちが祈っただけでは願いを叶えてくれません。 日本では神仏が祈りに応えて下さる、という信仰がありますが、中国の神様は現実的でうんと捧げ物をした者にだけ、その願いを叶えてくれるのです！

鹿港は台湾で2番目に古い小さな町で、歩いて探訪することができ、私たちも2時間近く歩いて回りました。 文武廟の次に訪れたのが龍山寺、手を繋いでいないと迷子になってしまいそうな人混みでした。 それから通りの両側に並んだアーケードの下をあるいていると肉まんを売る店がたくさん目につきました。 鹿港は肉まんでも有名なのだそうです！ 「阿振肉包」という店の前に人垣ができており、Kさんが「とても有名な店です。」と言われるので列に並んで買い求め、その美味しい肉まんを賞味しました。 次に向かったのが天后宮です。 媽祖を祀った廟で色鮮やかな宮殿、ここもまた大勢の人々でごった返していました。 天后宮のそばには牡蠣レストランが多く、鹿港は牡蠣でも有名だと聞き、それならという訳で牡蠣フライも賞味しました。 天后宮の近くには「九曲巷」という有名な細長い商店街があり、私たちはどこまでも続く、人々でごった返す路地をきょろきょろしながら歩いて行きました。

2時間近くも鹿港を歩きまわって足が痛くなったころ、Tさんが迎えに来てくださり、Hさんの妹さんの嫁ぎ先である機械製作工場へ行きました。 そこで美味しいコーヒーを頂いた後、近

くにある海鮮レストランで夕食をご馳走になりました。

4日目の朝、Hさんが迎えに来てくださり、台中駅まで連れて行ってもらいました。9時31分の特急電車に乗り10時36分に台北駅に到着しました。Sさんが迎えに来てくれる管でしたが、何分駅が広すぎてどこに待っておられるのか分からず、遂に案内所の方をお願いして携帯電話で連絡をとってもらい、ようやく会うことができました。

それから都心部にあるタイ料理レストランに案内され、サーバス台湾のSe会長を始めハンガリー人会員の家族4名、南アフリカからの会員などを含めて全部で20人程の賑やかな昼食会となりました。

それから私たちはタクシーで空港に行き、午後6時ごろ離陸、日本時間の9時ごろ福岡空港に到着しました。台湾では気温18度ほどで快適でしたが、福岡空港の外に出ると7度、寒くて震え上がる程でした！

台湾は今回で4回目でしたが、サーバス旅行としては初めてでした。突然のホームステイを快諾していただいたRさんご夫妻、Tさん、Hさん、Cさんというシニア会員、それに若いKさんなどによるおもてなしに私たちは本当に感動し、サーバスの良さを改めて認識しました。

4. お知らせとお願い（日本サーバス&サーバス九州）

1 2016年度会費：

年が明け、新しい年度になりました。サーバスの会費は年度当初(1月)にその年度分の会費を納入していただくことになっています。もうすでに2016年度の会費の納入をしてくださった方が多いのですが、まだ送金がお済でない方はなるべく早くご送金いただきますようお願いいたします。

会費納入依頼、特に「催促」はなかなかエネルギーを要します。サーバスの係はその精神(service)に基づき、すべてボランティアで行なわれています。担当者の苦労をお察しいただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

納入先(郵便局口座番号)はこのメールの最後に記しています。よろしく申し上げます。

尚、会計に対する質問もそちらにお願い致します。(係をもっているもの同士、お互いに遺漏がないよう十分注意をしておりますが、時には、「落ち」もあります。「もしかして」とお気づきになられた際は、お気を悪くされずに、遠慮なくお尋ねくださいませ。その方が助かります。)

2 変更届け：

連絡先住所、電話番号、メルアド等変更があられた時は、ホストリスト改定時を待たずにすぐご連絡いただきますようお願い致します。電子版の改訂は年に数回行われていますので最新情報をアップすることができます。

ホストリスト紙版(冊子)の発行はもしかしたら今年度が最後になるかもしれません。国際サーバスからの連絡によるとほとんどが紙版の発行・配布をやめるそうです。その代わりに、電子版のリストが使われていくこととなります。今後どのようにしていったらいいか、国内会議(3月12~13日)で話合われると思います。九州支部でも話し合いましょう！

3 国内会議開催：

2016年3月12~13日北海道・札幌で日本サーバスの国内会議が開催されます。どなたでも参加可能です。(費用は自己負担)ご希望の方がありましたら、支部長宛にご連絡ください。

4 トラベラー受け入れ報告：

1年に1回は本部報告のこともあって、みなさんに受け入れ報告をお願いしていますが、それと同時に、その都度の報告もお願いできればと思います。（会報で体験をシェアしましょう！）

5. サーバス九州現況（2016年2月5日現在）

新入会：

STさんとSHさんご夫妻

お二人とも先生で、福岡県春日市にお住まいです。

退会：

年度末にあたり、次の4人の方が健康や家庭のご事情等でサーバスをおやめになります。

SKさん(福岡県)、NKさん(福岡県)、TFさん(大分県)、IEさん(宮崎県)

長い間、ありがとうございました。また、何か機会がありましたら、どうぞ、ご遠慮なくご参集ください。サーバスの門はいつでも開かれております。

サーバス九州 現在の会員数 56 家族

内訳：福岡 14、佐賀 4、長崎 10、熊本 6、大分 13、宮崎 8、鹿児島 1

問合せは結構あっているのですが、なかなか入会までには至っていません。引き続き、口コミによる会のアピールをよろしくお願いいたします。